imagio MP 3352/2552 シリーズ

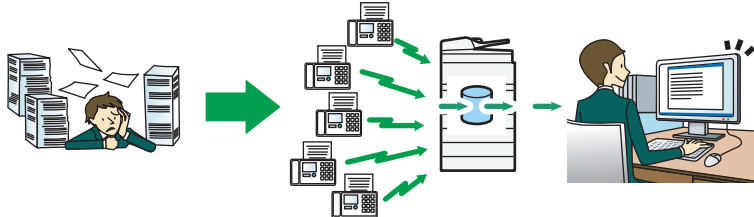
クイックガイド

＜ファクス編＞

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機をお使いになる方へ』「安全上のご注意」をお読みください。

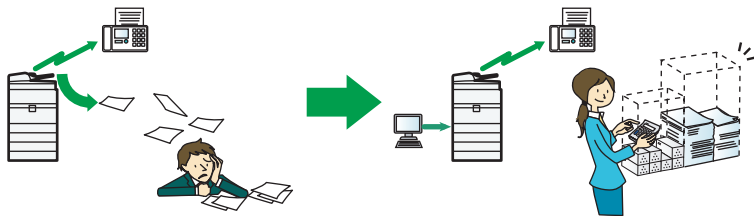
なるほど納得！　便利機能活用のヒント

受信文書を電子化してペーパーレス！

ハードディスクに受信文書を蓄積すれば、オフィスがスッキリ片付きます。不要な文書を印刷しないから紙のムダ使いもなくなります。
詳しくは、P.47 を参照してください。

ファクスを紙で保管していると管理が大変。迷惑ファクスにまで印刷コストが…

受信文書をハードディスクに蓄積すれば、楽に省スペース & エコが実現可能です。蓄積された受信文書は画面や Web ブラウザー上で確認／印刷／削除できます。

データのまま送信してペーパーレス！

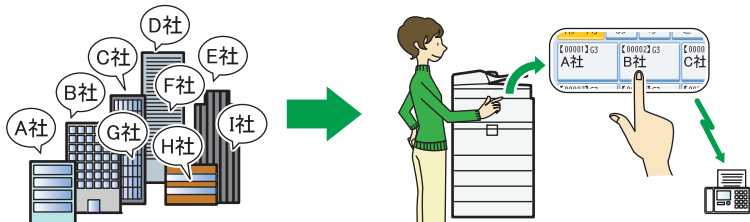
PC FAX ドライバーを使えば、パソコンで作った原稿がダイレクトに送信できるので、原稿を紙に印刷しないで即送信！
詳しくは、P.27 を参照してください。

送信済み原稿を送信後に捨てるだけなら紙がもったいない…

原稿を印刷せずにパソコンから送信できるので紙のコストがかかりません。

送信方法を使い分けて効率 UP！

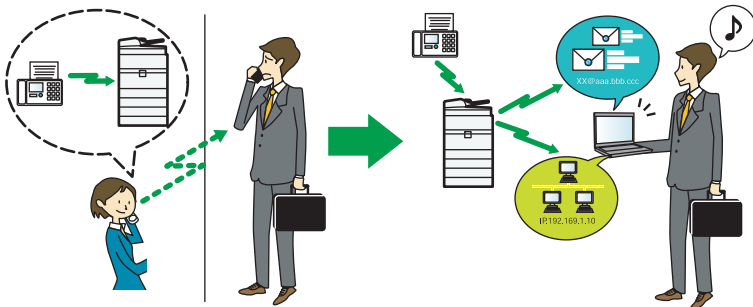
急いで原稿をデスクに持ち帰りたいときは「メモリー送信」、確実に相手を確認しながら送信したいときは「直接送信」と、TPO に合わせて送信方法を使い分ければ仕事の効率 UP が図れます。
詳しくは、P.5、P.9 を参照してください。

アドレス帳登録でらくらく送信！

あて先を登録すれば宛先キーを押すだけで簡単に相手先指定！
アドレス帳を取り込んでPC FAXドライバーで使うこともできます。
詳しくは、P.13を参照してください。

たくさんの取引先のファクス番号やメールアドレスを取り扱うのは大変…

最大2000件（HDキット装着時）のあて先をアドレス帳に登録でき、登録後はワンタッチで相手先の指定ができます。

受信文書を転送してどこでも確認！

受信文書をメールやフォルダーに転送すれば、いつでもどこでもファクスを受け取れ、面倒なファイリングも不要。
詳しくは、P.55を参照してください。

外出先ではファクスが受け取れないし、紙でもらった文書を持ち歩くのは大変…

メールやフォルダーに転送すればパソコンで受信でき、外出中でも内容が確認できます。

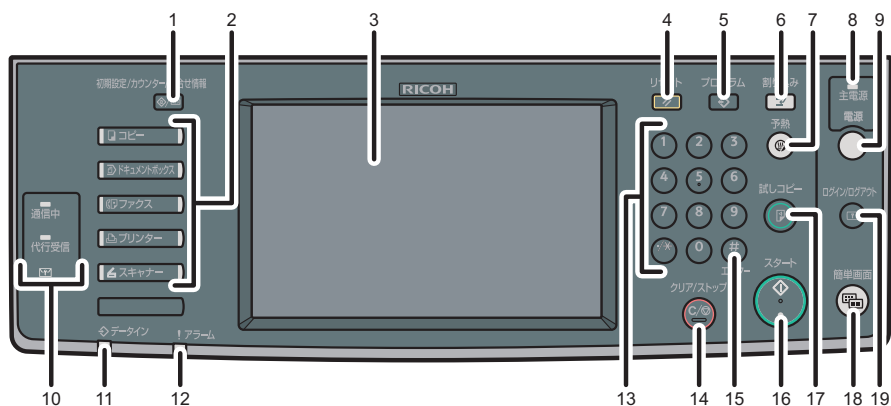
いつもの設定でスタンバイ！

宛先種別や読み取り条件など、よく使う機能を設定した状態にファクス初期画面をカスタマイズしておけば、いつでもお好みの設定ですぐにファクスが送信できます。
詳しくは、P.59を参照してください。

目 次

紙の使用説明書に記載されていない情報（機能の説明や操作手順）は、画面で見る使用説明書（付属の CD-ROM に収録）をご覧下さい。

操作部の名称

本体操作部の名称について説明します。

1. [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キー
2. 機能キー
3. 画面
4. [リセット] キー
5. [プログラム] キー
6. [割り込み] キー
7. [予熱] キー
8. 主電源ランプ
9. [電源] キー
10. 通信中ランプ、代行受信ランプ、親展受信ランプ
11. データインランプ
12. アラームランプ
13. テンキー
14. [クリア / ストップ] キー
15. [#] キー（エンターキー）
16. [スタート] キー
17. [試しコピー] キー
18. [簡単画面] キー
19. [ログイン / ログアウト] キー

1

基本的なファクスの送りかた（メモリー送信）

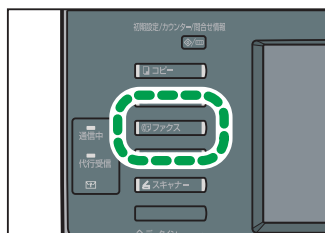
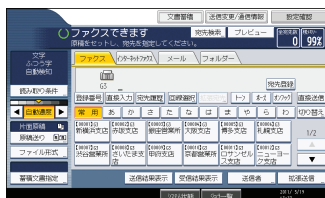
メモリー送信を使った、ファクスの基本的な送信方法について説明します。
ファクス送信で利用できる原稿サイズや読み取り条件の指定方法、相手先の指定方法について詳しくは、『ファクス機能編』「送信のしかた」を参照してください。

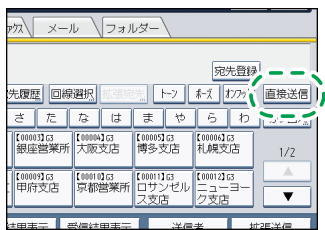
重要

- アドレス帳を使って相手先を指定するときは、相手先のファクス番号をあらかじめアドレス帳に登録しておきます。登録方法はP.13「ファクス番号をアドレス帳に登録する」を参照してください。

1 操作部の［ファクス］キーを押し、ファクス画面にします。

すでにファクス画面が表示されているときは［リセット］キーを押します。

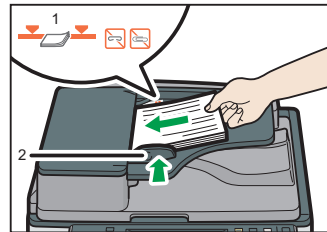
CHG015

2 「ファクスできます」が画面に表示されていることを確認します。

3 ［直接送信］が反転していないことを確認します。

- 通常はメモリー送信が選択されています。

4 自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットします。

補足

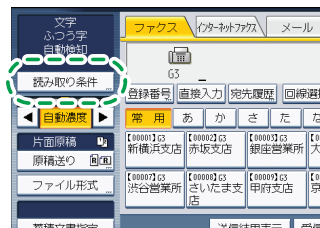
- あらかじめ、ステープルやクリップは取り除いてください。
- 原稿は上限表示を超えないようにセットしてください。
- 原稿は先頭ページが一番上になるようにセットします。

	A4、B4、A3		A5、B5	
原稿サイズ	R	R	R	R
原稿のセット方向	R	R	R	R

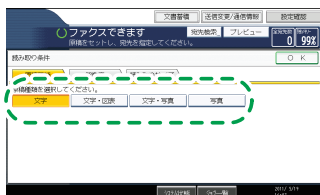
1. 原稿ガイドを原稿サイズに合わせます。
2. ファクスしたい面を上にし、原稿をそろえて自動原稿送り装置（ADF）にセットします。

1 上限表示　2 原稿ガイド

5 読み取り条件を選択します。

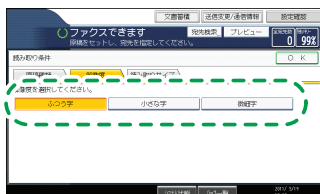
送信する原稿に合わせて読み取り条件を設定します。

2

基本的なファクスの送りかた（メモリー送信）（つづき）

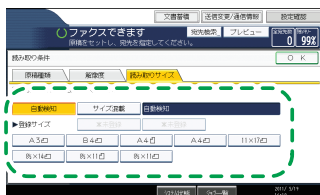
- 原稿種類

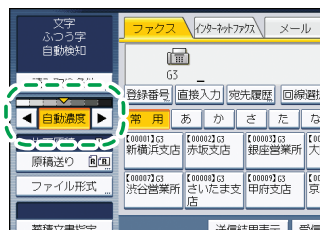
  文字、文字・図表、文字・写真、写真

- 解像度

  ふつう字（100dpi × 200dpi）
  ふつうの大きさの字で書かれた手書き原稿などに適しています。

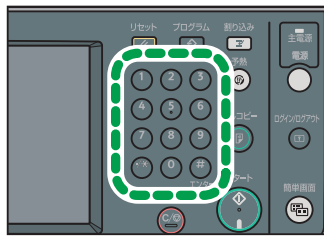
  小さな字（200dpi × 200dpi）
  小さな字で書かれた原稿などに適しています。ふつうの大きさの字でも、なるべくきれいに送信するときに選択します。

  微細字（400dpi × 400dpi）
  細かい字で書かれた新聞原稿などに適しています。ふつうの大きさや小さな字でも、できるだけ精細に送信するときに選択します。
  ※微細字（400dpi × 400dpi）は、オプションの FAX メモリーが必要です。

- 読み取りサイズ

  自動検知、定型サイズ、登録サイズ、サイズ混載

- 読み取り濃度

  自動濃度調整、手動濃度調整、組み合わせ濃度調整

6 相手先のファクス番号を指定します。

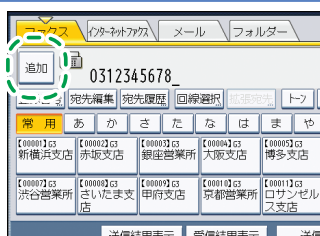
・ファクス番号を直接入力するとき

テンキーを使って入力します。

・アドレス帳から選択して指定するとき

相手先のファクス番号が登録されている宛先キーを押します。

- 相手先を間違えたときは［クリア / ストップ］キーを押して指定し直します。

7 複数の相手に同じ文書を送信するときは、［追加］を押して、次の相手先ファクス番号を指定します。

- ［追加］を押さずにアドレス帳から宛先キーを押しても、次の相手先が追加できます。

8 ［スタート］キーを押します。

原稿は、自動的に送信されます。終了までお待ちください。

補足

- 送信が完了したかどうかを送信結果表示画面で確認できます。確認方法は P.11「送信した結果を確認する」を参照してください。

相手先を確認しながら送信する(直接送信)

相手先ファクスの情報を確認しながら送信します。

重要

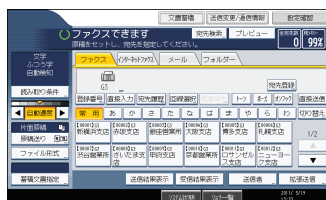
- インターネットファクス送信、メール送信およびフォルダー送信は、必ずメモリー送信になります。直接送信を指定しているときにそれらの宛先に切り替えると、自動的にメモリー送信に切り替わります。
- 直接送信でグループ送信および同報送信はできません。指定できる相手先は 1 件です。グループ送信、同報送信を指定したときは、自動的にメモリー送信に切り替わります。

補足

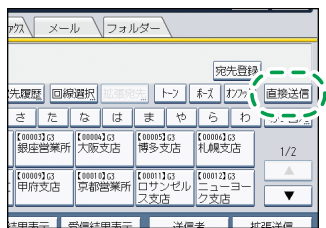
- アドレス帳を使って相手先を指定するときは、相手先のファクス番号をあらかじめアドレス帳に登録しておきます。登録方法は P.13「ファクス番号をアドレス帳に登録する」を参照してください。

1 「ファクスできます」が画面に表示されていることを確認します。

補足

- ファクス以外の機能が表示されているときは、操作部左側の［ファクス］キーを押します。

2 ［直接送信］を押します。

補足

- 通常はメモリー送信が選択されています。

3 原稿をセットします。

参照

- 原稿のセット手順については、P.5「基本的なファクスの送りかた(メモリー送信)」の手順 4 を参照してください。

4 読み取り条件を選択します。

5 相手先のファクス番号をテンキーで入力するか、アドレス帳から選択して指定します。

参照

- 相手先の指定方法は P.5「基本的なファクスの送りかた（メモリー送信）」の手順 6 を参照してください。

6 ［スタート］キーを押します。

補足

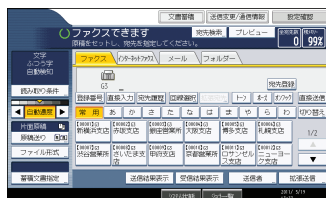
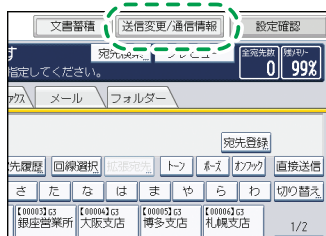
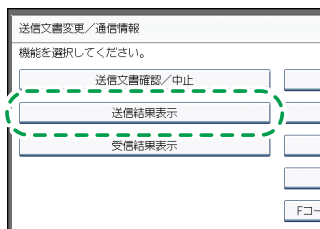
- 誤った相手先を呼び出したときは、［クリア / ストップ］キーを押してファクス送信を中断できます。

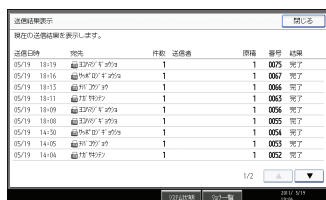
送信した結果を確認する

送信の結果を画面上で確認できます。

1 「ファクスできます」が画面に表示されていることを確認します。

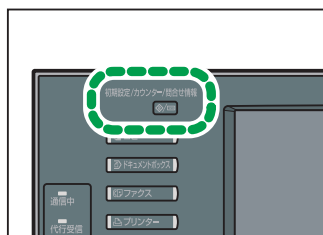
補足

- ファクス以外の機能が表示されているときは、操作部左側の［ファクス］キーを押します。

2 ［送信変更 / 通信情報］を押します。

3 ［送信結果表示］を押します。

4 送信結果を確認します。

送信結果が新しい順に 9 通信分ずつ表示されます。

5 ［閉じる］を 2 回押します。

ファクス番号をアドレス帳に登録する

相手先の名前とファクス番号をアドレス帳に登録します。

1 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

CHA004

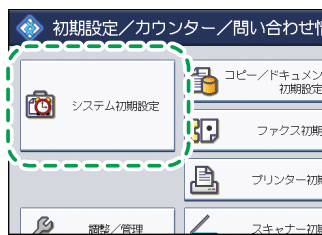
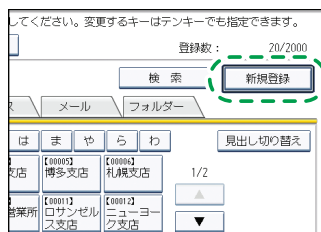
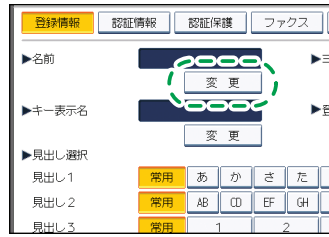
2 ［システム初期設定］を押します。

3 ［管理者用設定］を押します。

4 ［アドレス帳登録／変更／消去］を押します。

5 ［登録／変更］が選択されていることを確認します。

6 ［新規登録］を押します。

2

7 「名前」の［変更］を押します。

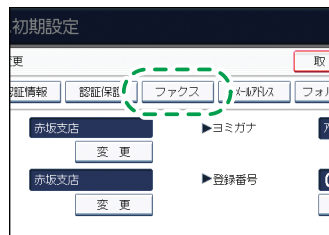
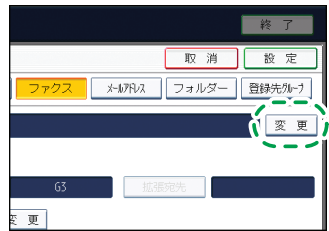
8 名前を入力し、［OK］を押します。

必要に応じて、キー表示名を同様に入力します。

登録したキー表示名は、ファクス初期画面の宛先キーに表示されます。

9 ユーザーを分類しておきたい「見出し選択」の見出しキーを押します。

2

10 ［ファクス］を選択します。

11 「ファクス宛先」の［変更］を押します。

12 ファクス番号をテンキーで入力し、［確定］を押します。

ファクス番号をアドレス帳に登録する（つづき）

13 **必要に応じて、宛先ごとに設定できる以下の機能を設定します。**

各機能のキーを押して設定画面を表示させます。

- 回線選択：宛先ごとに使用する回線を設定します。
- 拡張宛先：F コード（SUB/SID/SEP/PWD）、サブアドレス /UUI を設定します。
- 海外送信モード：海外送信モードを使用するかどうか設定します。
- 発信元名称選択：相手先の受信紙に印字させる発信元名称（印字用）を設定します。
- 宛名差し込み：相手先の受信紙に印字させる宛名を設定します。

設定が終了したら、［設定］を押します。

14 **［設定］を押します。**

15 **［閉じる］を押します。**

16 **［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。**

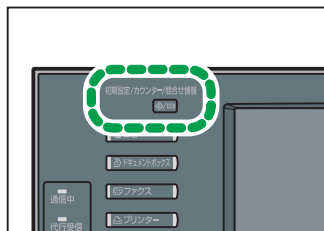
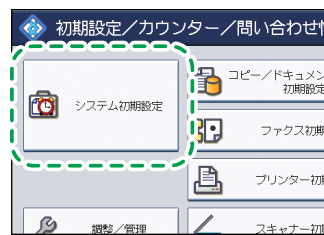
登録した宛先は、ファクス初期画面の宛先キーに表示されます。

補足

- 宛先の登録数が多い場合は、Web Image Monitor を使用してアドレス帳に登録することもできます。

アドレス帳に登録したファクス番号を変更する

アドレス帳に登録した宛先の名前やファクス番号を変更します。

1 ［初期設定／カウンター／問合せ情報］キーを押します。

2 ［システム初期設定］を押します。

3 ［管理者用設定］を押します。

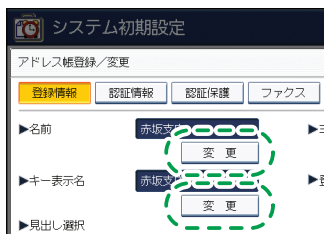
4 ［アドレス帳登録／変更／消去］を押します。

5 ［登録／変更］が選択されていることを確認します。

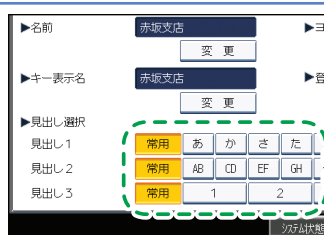
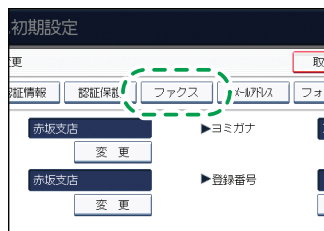
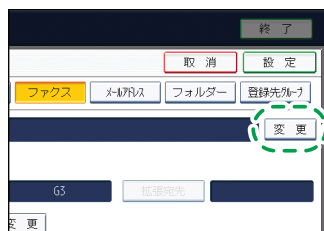
6 変更したいファクス番号が登録されているユーザーを選択します。

変更したいユーザーのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

7 名前、キー表示名またはヨミガナを変更するときは、名前、キー表示名またはヨミガナの［変更］を押します。

- 登録したキー表示名は、ファクス初期画面の宛先キーに表示されます。

8 名前、キー表示名またはヨミガナを入力し、［OK］を押します。

アドレス帳に登録したファクス番号を変更する（つづき）

9 見出しを変更するときは、ユーザーを分類しておきたい「見出し選択」の見出しキーを押します。

10 ［ファクス］を選択します。

11 「ファクス宛先」の［変更］を押します。

12 テンキーでファクス番号を入力し直し、［確定］を押します。

13 必要に応じて、「回線選択」、「拡張宛先」、「海外送信モード」、「発信元名称選択」、「宛名差し込み」の設定を変更します。

各機能のキーを押すと設定画面が表示されます。設定が終了したら、［設定］を押します。

14 ［設定］を押します。

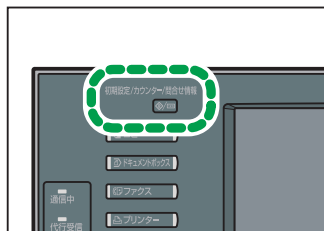
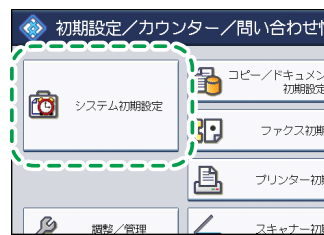
15 ［閉じる］を押します。

16 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

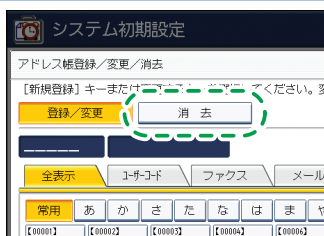
宛先をアドレス帳から消去する

登録した宛先の情報をアドレス帳から削除する方法について説明します。

1 **［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。**

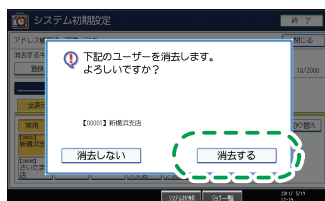
CHA004

2 **［システム初期設定］を押します。**

3 **［管理者用設定］を押します。**

4 **［アドレス帳登録／変更／消去］を押します。**

5 **［消去］を押します。**

6 **消去したいユーザーを選択します。**

消去したいユーザーのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

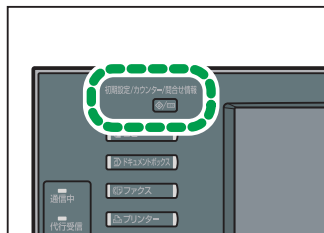
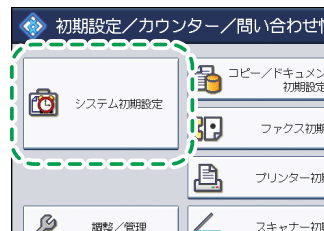
宛先をアドレス帳から消去する(つづき)

7 確認画面が表示されますので、[消去する] を押します。

8 [閉じる] を押します。

9 [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

グループ宛先をアドレス帳に登録する

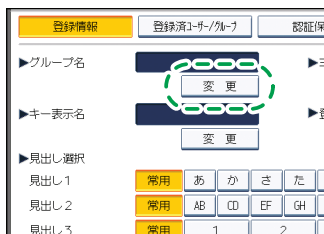
グループを登録すると、ファクス宛先やメール宛先をグループごとに管理できます。
はじめにグループを登録しておき、宛先ごとにグループを指定します。

1 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

2 ［システム初期設定］を押します。

3 ［管理者用設定］を押します。

4 ［グループ登録／変更／消去］を押します。

5 ［登録／変更］が選択されていることを確認します。

6 ［新規登録］を押します。

7 グループ名の［変更］を押します。

8 グループ名を入力し、［OK］を押します。

2

グループ宛先をアドレス帳に登録する（つづき）

9 グループを分類しておきたい「見出し選択」の見出しキーを押します。

10 キー表示名を変更するときは［変更］を押し、キー表示名を入力して［OK］を押します。

登録したキー表示名は、ファクス初期画面の宛先キーに表示されます。

11 ［設定］を押します。

12 ［閉じる］を押します。

グループが登録されました。

続けてグループに宛先を登録する操作を行います。

13 ［アドレス帳登録／変更／消去］を押します。

14 ［登録／変更］が選択されていることを確認します。

15 グループに登録したいユーザーまたはグループを選択します。

登録したいユーザーまたはグループのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

16 ［登録先グループ］を押します。

2

17 登録したいグループを選択します。

選択したグループが反転表示されます。

18 ［設定］を押します。

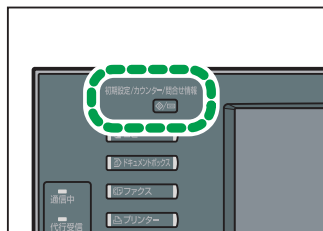
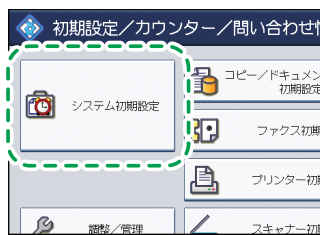
19 ［閉じる］を押します。

20 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

2

グループに登録されている宛先を確認する

どのグループにどの宛先が登録されているかを確認します。

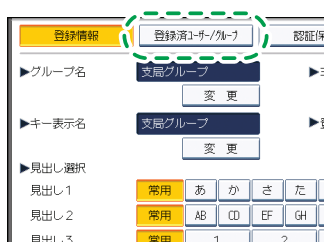
1 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

2 ［システム初期設定］を押します。

3 ［管理者用設定］を押します。

4 ［グループ登録／変更／消去］を押します。

5 ［登録／変更］が選択されていることを確認します。

6 登録ユーザーを確認したいグループを選択します。

7 ［登録済ユーザー / グループ］を押します。

8 確認後、［設定］を押します。

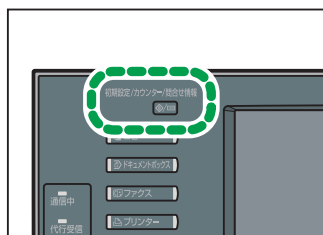
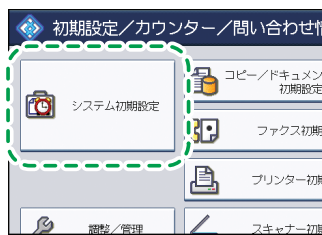
9 ［閉じる］を押します。

10 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

グループから宛先を削除する

登録されている宛先をグループから削除します。

1 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

CHA004

2 ［システム初期設定］を押します。

3 ［管理者用設定］を押します。

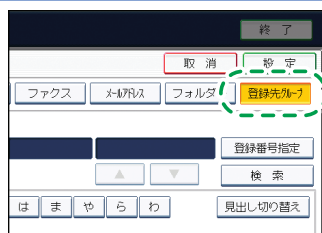
4 ［アドレス帳登録／変更／消去］を押します。

5 ［登録／変更］が選択されていることを確認します。

6 グループから削除したいユーザーを選択します。

削除したいユーザーのキーを押すか、テンキーで登録番号を押します。

7 ［登録先グループ］を押します。

所属しているグループが反転表示されています。

8 削除したいユーザーが所属するグループを選択します。

ユーザーを削除したグループの反転表示が解除されます。

9 ［設定］を押します。

10 ［閉じる］を押します。

11 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

パソコンからファクスを送信するための準備

PC FAX ドライバーを使ってパソコンからファクス送信するには、imagio のネットワーク設定やパソコンへのドライバーのインストールなどの準備が必要です。
ここでは､お使いの OS が Windows XP Professional の場合を例に説明します。

重要

- この機能を使うには、HD キットとプリンター・スキャナーユニットが必要です。
- この機能を使うには、ご使用のパソコンに PC FAX ドライバーをインストールする必要があります。
- PC FAX ドライバーは、付属の CD-ROM に収録されているものをお使いください。
- パソコンと imagio は、パラレルポート（拡張 1284 ボード）、LAN、無線 LAN（拡張無線 LAN ボード）、または USB2.0 を使って接続します。パソコンと imagio の接続方法に応じてネットワークの設定が必要です。

補足

- imagio にエラーが発生しても、PC FAX ドライバー側ではエラーが表示されません。Web Image Monitor で確認してください。詳しくは Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- PC FAX ドライバーの選択方法はお使いの OS により異なる場合があります。詳しくは Windows のヘルプ / 取扱説明書を参照してください。

ソフトウェアについて

ここでは、付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアのうち、PC FAX ドライバー、あて先表編集ツール、および PC FAX 送付状エディターについて説明しています。

PC FAX ドライバー

PC ファクス機能を使用するためのドライバーです。

□ ファイル格納場所

Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 用の PC FAX ドライバーは、付属の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。
32bit 版 OS 対応ドライバー：X86¥DRIVERS¥PCFAX¥XP_VISTA
64bit 版 OS 対応ドライバー：X64¥DRIVERS¥PCFAX¥X64

□ PC FAX ドライバーの動作環境

- パソコン
  対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機、NEC PC-9821 シリーズ
- 対象 OS
  Microsoft Windows 2000/XP/Vista/7 日本語版
  Microsoft Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版
- ディスプレイ解像度
  VGA 640 × 480 ドット以上

3

□ あて先表編集ツール

あて先表編集ツールは、PC ファクスの機能を使ってファクス送信するときの「あて先」を編集するユーティリティーです。

- 対象 OS
  Microsoft Windows 2000/XP/Vista/7 日本語版
  Microsoft Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版

□ PC FAX 送付状エディター

PC ファクスの機能を使ってファクス送信するときに「送付状」を付けることができます。
PC FAX 送付状エディターはこの送付状を編集するユーティリティーです。

- 対象 OS
  Microsoft Windows 2000/XP/Vista/7 日本語版
  Microsoft Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版

3

パソコンからファクスを送信するための準備(つづき)

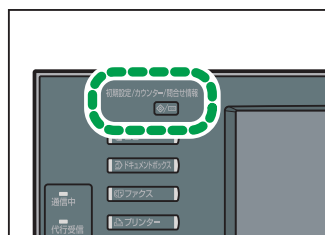
ネットワーク環境を確認する

imagio がネットワーク環境に接続されているかを確認します。

[システム初期設定]のネットワーク設定をする

ご使用の環境や目的に応じて、[システム初期設定]でネットワークの各設定を行います。ここでは、imagio のネットワーク接続にイーサネットケーブルおよびIPv4 を使用する場合を例に、設定手順を説明します。
ご使用の環境によって設定項目は異なります。

1 [初期設定 / カウンター / 問合せ情報]キーを押します。

CHA004

2 [システム初期設定]を押します。

3 [インターフェース設定]タブを押します。

4 [本体 IPv4 アドレス]を押して、imagio に IPv4 アドレスの設定を行います。

imagio に固定の IPv4 アドレスを設定する場合は、[指定]を押し、IPv4 アドレスとサブネットマスクをそれぞれ入力します。

DHCP サーバーから IPv4 アドレスを自動で取得する場合は、[自動的に取得 (DHCP)]を押します。

5 [IPv4 ゲートウェイアドレス]を押し、IPv4 ゲートウェイアドレスを入力します。

3

6 ［有効プロトコル］を押し、［IPv4］を有効にします。

補足

- ネットワークの環境によって、［システム初期設定］で設定する項目は異なります。
- 拡張無線 LAN ボードを装着している場合は、［インターフェース設定］タブの［ネットワークインターフェース選択］で、［イーサーネット］を選択する必要があります。

PC FAX ドライバーをインストールする

ここでは、PC FAX ドライバー、あて先表編集ツールおよび PC FAX 送付状エディターのインストール方法について説明しています。

補足

- OS の設定によっては、CD-ROM をパソコンに挿入すると、プリンタードライバーやユーティリティーなどの各種ソフトウェアのインストーラーが自動的に起動します（オートランプログラム）。オートランを無効にしたいときは、左側の［Shift］キーを押しながら CD-ROM を挿入し、パソコンが CD-ROM ドライブにアクセスし終わるまで［Shift］キーを押したままにします。

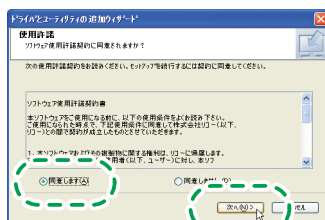
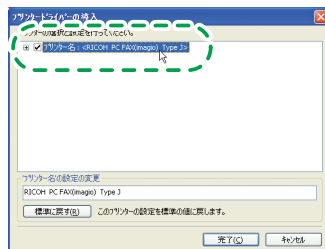
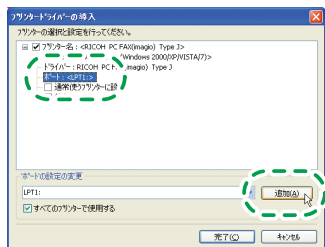
1 他のアプリケーションをすべて閉じます。

2 imagio に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

3 セットアップ画面が表示されたら、［PC FAX ドライバー］をクリックします。

3

パソコンからファクスを送信するための準備（つづき）

4 すべての項目をお読みください。同意する場合は[同意します]をクリックし、[次へ] をクリックします。

5 [プリンター名：<RICOH PC FAX (imagio) Type J>] をダブルクリックします。

6 [ポート] を選択し、[追加] をクリックします。

7 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。

3

8 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、［次へ］をクリックします。

1. ［プリンタ名または IP アドレス］ボックスに imagio の名前またはアドレスを入力します。

補足

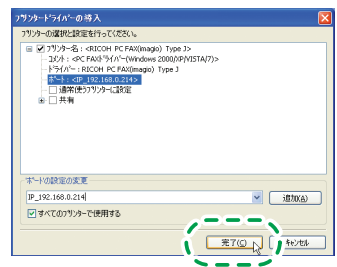
- ［ポート名］ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。
- デバイスの種類を選択する画面が表示された場合は、「RICOH Network Printer C model」を選択してください。

2. ［次へ］をクリックします。

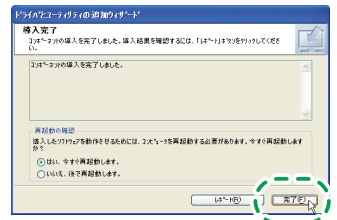
3. 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、［完了］をクリックします。

3

パソコンからファクスを送信するための準備（つづき）

9 imagio のポートが［ポート］に表示されていることを確認し、［完了］をクリックします。

10 ［完了］をクリックします。

補足

- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、「インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり、システムが不安定になるなど、重大な障害を引き起こす要因となる可能性があります。」という画面が表示されることがありますが、動作上、影響ありませんので［はい］または［続行］を選択して、インストールを続行します。

PC FAX ドライバーのプロパティを設定する

PC FAX ドライバーを使うために必要なプロパティの設定方法を説明します。

重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

印刷設定をする

送信する原稿のサイズや画質などを設定します。

1 タスクバーの［スタート］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 「RICOH PC FAX(imagio) Type J」を右クリックして［印刷設定］をクリックしたあと、次の印刷設定を行います。

- 用紙サイズ
- 印刷方向
- 給紙トレイ
- 解像度
※微細字（400dpi × 400dpi）は、オプションの FAX メモリーが必要です。

3 ［OK］をクリックします。

3

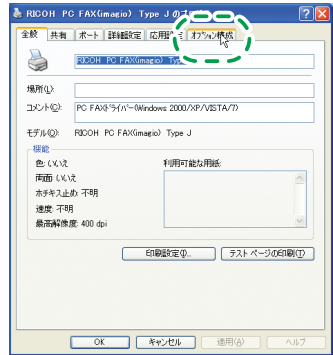
パソコンからファクスを送信するための準備（つづき）

オプション構成を設定する

必要に応じて、imagio に装着しているオプション構成の設定を行います。

1 タスクバーの［スタート］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 「RICOH PC FAX(imagio) Type J」を選択して反転表示させ、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

3 ［オプション構成］タブをクリックします。

4 本機に接続されているオプションの項目にチェックマークを付けます。

5 ［適用］をクリックします。

6 ［OK］をクリックします。

補足

- imagio に装着しているオプションと異なる設定をすると、正常に機能しないことがあります。
- オプション構成画面には、オプション構成以外に次のような項目の設定が含まれています。
  - 直接あて先指定禁止：機器本体で宛先の直接指定を禁止しているときに選択します。
  - メールを使用する：PC ファクスからのインターネットファクス送信を可能にするときに選択します。
  - IP- ファクス：PC ファクスからの IP-ファクス送信を可能にするときに選択します。

パソコンからファクスを送信する

Windows のアプリケーションで作成した文書を、imagio に接続されているパソコンから他のファクスへ、PC FAX ドライバーを使って送信します。
ここでは、お使いの OS が Windows XP Professional の場合を例に PC ファクスの送信方法について説明します。

PC ファクスで利用できるほかの機能については、『ファクス機能編』「パソコンからファクスを送信する」を参照してください。

基本的な PC ファクス送信の操作手順

パソコンのアプリケーションで作成した文書を PC FAX ドライバーから送信します。送信する文書をアプリケーションで開くか作成しておき、次の操作を行います。

重要

- 宛先を直接入力するとき、または PC ファクスのあて先表を使うときは、メール宛先およびフォルダー宛先は指定できません。
- あて先表から相手先を選択するには、あらかじめ「あて先表編集ツール」で相手先をあて先表に登録しておく必要があります。
- 「あて先表」タブまたは「直接あて先指定」タブで、機器本体に登録されている宛先をアドレス帳の登録番号で指定するには、あらかじめアドレス帳のデータを PC FAX ドライバーのあて先表に取り込んでおく必要があります。
- 「あて先表」タブで、機器本体に登録されているアドレス帳のデータを PC ファクスのあて先表として使うときは、あらかじめアドレス帳のデータを CSV ファイルとしてパソコンに保存しておく必要があります。

3

1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

2 プリンタ名で「RICOH PC FAX (imagio) Type J」を選択します。

3 [OK] をクリックします。

補足

- アプリケーションにより設定方法が多少異なることもあります。各アプリケーションの設定方法に従い、プリンタを「RICOH PC FAX(imagio) Type J」に設定してください。

相手先を指定します。

●相手先を [あて先表] から選択する

1. [あて先表] タブが選択されていることを確認します。
2. [あて先表 :] で相手先を選択します。

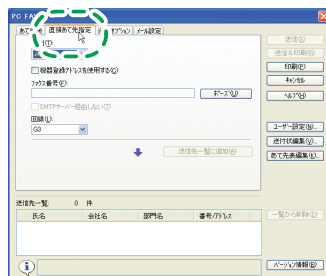
3. [送信先一覧に追加] をクリックします。

   選択した相手先が [送信先一覧] に表示されます。

   複数の相手先を指定するときは、手順 2 から手順 3 を繰り返します。

パソコンからファクスを送信する(つづき)

●相手先を直接入力する

1. ［直接あて先指定］タブをクリックします。

2. 送信するファクスの種別を「種別」のドロップダウンメニューから選択します。

   IP-ファクスで送る場合は「ファクス」を選択します。

3. 相手先を入力します。

   手順 2 で「ファクス」を選択した場合は、送信先のファクス番号またはIP-ファクス宛先を入力し、「回線」ドロップダウンリストから使用する回線またはプロトコルを選択します。

   手順 2 で「メール」を選択した場合は、送信先のメールアドレスを入力し、SMTP サーバーを経由するかどうか設定します。

4. ［送信先一覧に追加］をクリックします。

   選択した相手先が [送信先一覧] に表示されます。

   複数の相手先を指定するときは、手順 2 から手順 4 を繰り返します。

5 必要に応じて送信オプション機能を指定します。

補足

- ［送信オプション］タブで、時刻指定送信、発信元名称印字、送信イメージ出力、文書蓄積などの機能を指定できます。

6 [送信] または [送信&印刷] をクリックします。

あて先表編集ツールを利用する

あて先表編集ツールを使って、あて先表に相手先を登録したり、登録した内容を編集したりします。imagio のアドレス帳をパソコンに保存する方法については、P.43「imagio のアドレス帳を利用する」を参照してください。

1 **タスクバーの［スタート］→［すべてのプログラム］→［RICOH PC FAX ユーティリティー］→［あて先表編集ツール］の順にクリックします。**

PC FAX ドライバーを起動しているときは、［あて先表編集］をクリックします。

2 **［新規 / 参照］をクリックして、編集するあて先表の CSV ファイルを選択し、［開く］をクリックします。**

3 **相手先の登録や編集を行います。**

●相手先を新しく登録する

1. 相手先を入力します。

「氏名」、「（氏名）ふりがな」および宛先（「ファクス番号」「メールアドレス」「IP-ファクスアドレス」のいずれか 1 つ）は必ず入力してください。

2. ［新規追加］をクリックします。

一覧にあて先が追加されます。

あて先表編集ツールを利用する（つづき）

●登録されている相手先を編集する

1. 一覧から編集する相手先を選択して、反転表示させます。
2. データを修正します。
3. ［上書き］をクリックします。

   一覧で選択されている相手先に上書きされます。

●登録されている相手先を削除する

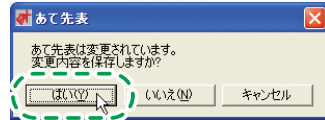
1. 一覧から削除する相手先を選択して、反転表示させます。
2. ［削除］をクリックします。
3. 「あて先表」のダイアログで［はい］をクリックします。

補足

- 「ファクス番号」の「回線」からは「G3」「G3-2」「G3-3」「G4」「G3 外線空き」「G3 内線空き」「I-G3」「内線」が選択できますが、本機では「内線」は使用できません。内線を使用するときは、「G3 内線空き」を選択してください。

3

4 ［閉じる］をクリックします。

5 ダイアログが表示されますので、［はい］をクリックします。

imagio のアドレス帳を利用する

Ridoc IO Analyzer を利用して、imagio に登録されているアドレス帳（CSV ファイル）をパソコンに保存します。
保存したアドレス帳（CSV ファイル）は、PC ファクスの宛先表として使用できます。

重要

- Ridoc IO Analyzer Lt は、リコーのホームページからダウンロードできます。詳しくは、『本機をお使いになる方へ』「ソフトウェアのダウンロードについて」を参照してください。

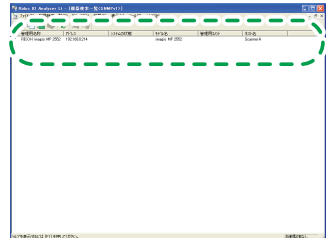
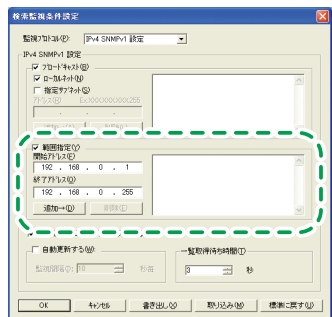
補足

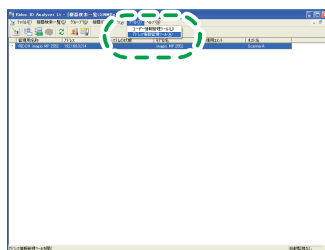
- imagio でグループ登録した宛先を「あて先表編集ツール」に取り込む場合、各個人のどの宛先に送るかは、以下の優先順位に従って決定されます。取り込みの際に確認し、必要に応じて変更してください。IP-ファクス宛先→ファクス番号→メールアドレス
- お使いの機種によっては、ユーザーコードが入力された CSV ファイルを Ridoc IO Analyzer で取り込み、imagio へ「設定内容の送信」をしているあいだは機器操作ができなくなります。
- 詳しい使い方は「Ridoc IO Analyzer」のヘルプを参照してください。
- 本書では、「Ridoc IO Analyzer」と「Ridoc IO Analyzer Lt」を総称して「Ridoc IO Analyzer」と記載しています。

パソコンに imagio のアドレス帳のデータを保存する

3

1 Ridoc IO Analyzer を起動します。

imagio が自動的に検出され、機器検索の一覧にお使いの機種名と IP アドレスが表示されます。

何も表示されない場合は、［機器検索一覧］メニューから［検索監視条件設定］を選択し、imagio の IP アドレスを右記のように範囲指定し、［追加］-［OK］を押します。IP アドレスは imagio の［初期設定］キー -［システム初期設定］-［インターフェース設定］-［本体 IP アドレス］で確認できます。

それでも表示されない場合は、セキュリティーソフト等の原因が考えられますので、お使いのセキュリティーソフトの設定をご確認ください。

2 お使いの機種を選択し、[ツール] - [アドレス情報管理ツール] を選択します。

3 認証情報入力画面にユーザー名、パスワードを入力して[OK] を押します。

初期値はユーザー名のみ [admin] です。

「アドレス情報管理ツール - 情報取得中」のダイアログが表示され、imagio のアドレス帳が表示されます。

4 アドレス情報管理ツール画面で [ファイル] - [データの書き出し] をクリックします。

「パスワード情報は機器で再利用できません。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

5 デスクトップなどわかりやすいところに保存先を指定して、[保存] をクリックします。

以下の 3 つのファイルが保存されます。

「imagio の機種名 _addr.csv」/「imagio の機種名 _faxinfo.csv」/「imagio の機種名 _taginfo.csv」

「imagio の機種名 _addr.csv」をアドレス帳として使用します。

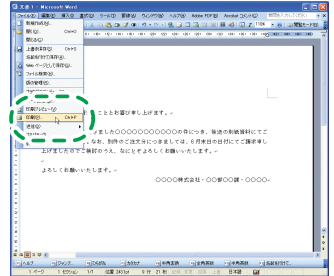
6 アドレス情報管理ツール画面を閉じ、Ridoc IO Analyzer を終了します。

続いて、パソコンに保存したアドレス帳を PC ファクス画面で表示します。

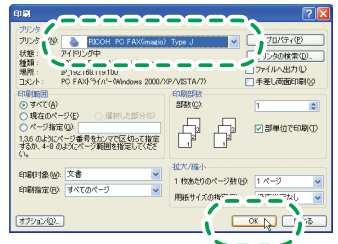
imagio のアドレス帳を利用する（つづき）

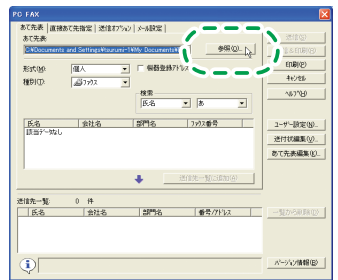
パソコンに保存したアドレス帳を PC ファクス画面で使う

Word 文書を PC ファクスで送信する場合の例を説明します。

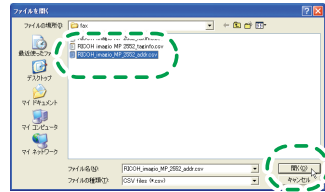
1 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

2 プリンタ名で「RICOH PC FAX (imagio) Type J」を選択し、［OK］をクリックします。

PC ファクス画面が表示されます。

アプリケーションにより設定方法が多少異なることもあります。各アプリケーションの設定方法に従い、プリンタを「RICOH PC FAX(imagio) Type J」に設定してください。

3 ［あて先表］の［参照］をクリックします。

3

4 パソコンに保存してある imagio のアドレス帳を指定して、［開く］をクリックします。

「imagio の機種名 _addr.csv」を指定します。

アドレス帳が表示されます。

5 表示されたアドレス帳から相手先を指定します。

参照

- 送信操作について詳しくは、P.37「基本的な PC ファクス送信の操作手順」を参照してください。

3

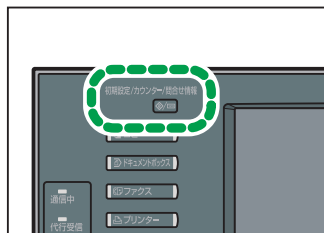
蓄積を設定する（ペーパーレスファクス）

受信した文書を印刷せずに蓄積しておくことができます。また、通知先を設定してファクスを受信したことをメールで通知できます。

重要

- この機能を使うには、HD キットが必要です。

1 [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

CHA004

2 [ファクス初期設定] を押します。

3 [受信設定] を押します。

4 [受信文書設定] を押します。

5 [蓄積する] を選択し、[設定] を押します。

補足

- 指定したメールアドレスに受信を通知するように設定する場合は、[通知先] を押し、宛先表に登録されているインターネットファクス宛先またはメール宛先の中から通知先を選択してください。

6 [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

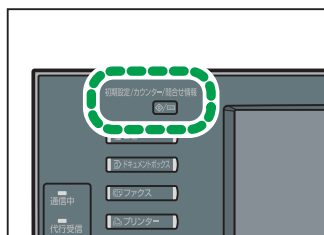
受信文書が imagio に蓄積されます。

受信文書を印刷するときは、手順 5 で「印刷する」を選択します。

4

蓄積と同時に印刷する(パラメーター設定)

受信した文書を蓄積するときに、同時に印刷するかどうかを設定できます。初期設定のパラメーター設定(スイッチ 10 ビット 5)で設定します。工場出荷時は [印刷しない] に設定されています。

1 [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

2 [ファクス初期設定] を押します。

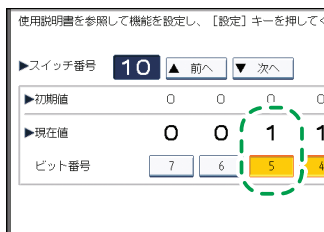
3 [導入設定] を押します。

4 [パラメーター設定] を押します。

5 変更するスイッチ番号 [10] を押します。

6 変更するビット番号 [5] を押し、[設定] を押します。

番号を押すたびに 1 と 0 が交互に表示されます。

蓄積と同時に印刷する場合は、1 を表示させます。

7 [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

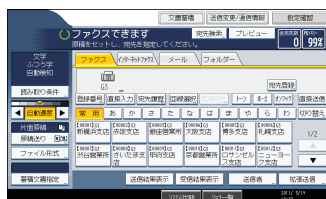
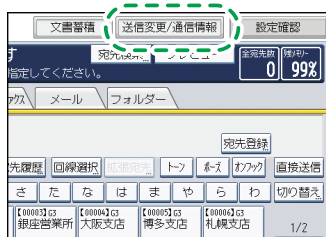
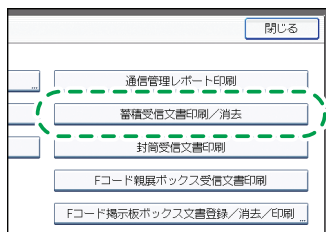
4

蓄積受信文書をプレビュー表示する

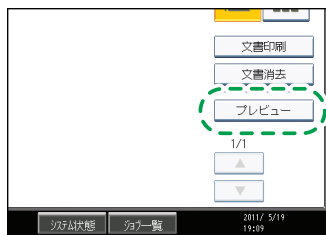
ハードディスクに蓄積された受信文書をプレビュー表示で確認します。

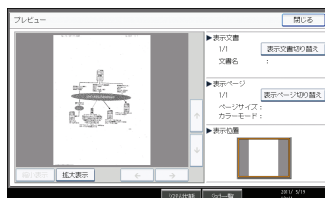
1 「ファクスできます」が画面に表示されていることを確認します。

補足

- ファクス以外の機能が表示されているときは、操作部左側の［ファクス］キーを押します。

2 ［送信変更 / 通信情報］を押します。

3 ［蓄積受信文書印刷／消去］を押します。

4 プレビューする文書を選択します。

サムネールのキーを押すと、サムネール表示に切り替わります。

5 ［プレビュー］を押します。

6 プレビューを確認します。

- ［縮小表示］または［拡大表示］を押すと、文書を縮小または拡大して表示できます。
- ［←］［→］［↑］［↓］を押すと、表示させる部分を移動できます。
- ［表示文書切り替え］を押すと、選択した別の文書を表示できます。
- ［表示ページ切り替え］を押すと、表示させるページを切り替えられます。

7 ［閉じる］を押します。

手順 5 の画面に戻ります。

8 ［閉じる］を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

補足

- 横の長さが A3（420mm）を超える原稿を蓄積受信した場合、プレビューでは 1 枚で表示されますが、実際の印刷では画像は分割されます。

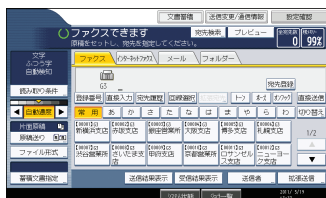
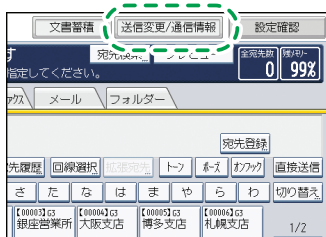
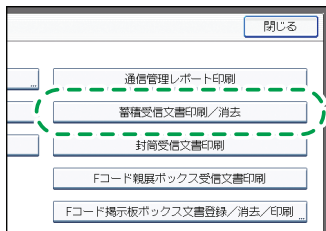
4

蓄積受信文書を印刷する

ハードディスクに蓄積されたファクス文書を印刷します。

1 「ファクスできます」が画面に表示されていることを確認します。

補足

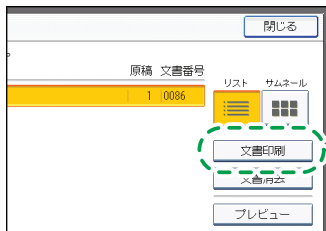
- ファクス以外の機能が表示されているときは、操作部左側の［ファクス］キーを押します。

2 ［送信変更 / 通信情報］を押します。

3 ［蓄積受信文書印刷 / 消去］を押します。

4 印刷する文書を選択し、［文書印刷］を押します。

複数の文書を指定することもできます。

操作を取り消すときは［取消］を押します。

印刷したあとに文書を消去するときは［印刷後消去する］を押します。

両面印刷をするときは［スタート］キーを押す前に［両面に印刷する］を押します。

4

5 ［スタート］キーを押します。

［スタート］キーを押したあとに印刷を中止するときは、［印刷中止］を押します。手順 4 の画面に戻ります。

6 ［閉じる］を 2 回押します。

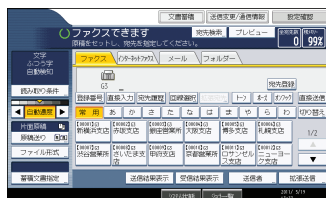
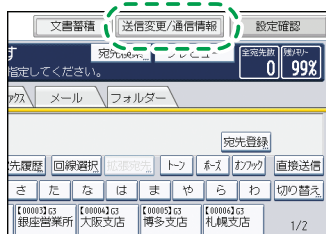
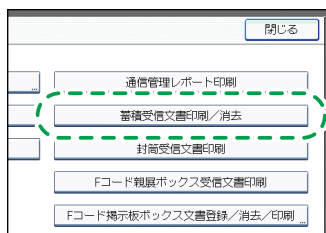
待機中の画面に戻ります。

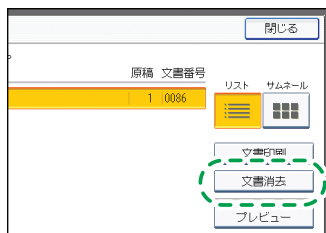
補足

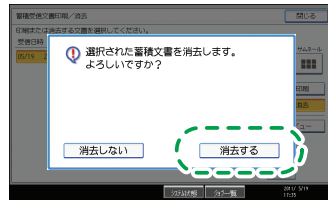
- この機能で印刷できるのは、ファクス受信をして蓄積された文書だけです。
- 蓄積受信文書はドキュメントボックス機能では使用できません。

蓄積受信文書を消去する

ハードディスクに蓄積されたファクス文書を消去します。

1 「ファクスできます」が画面に表示されていることを確認します。

2 ［送信変更 / 通信情報］を押します。

3 ［蓄積受信文書印刷 / 消去］を押します。

4 消去する文書を選択し、［文書消去］を押します。

複数の文書を指定して、一度に消去することもできます。

5 ［消去する］を押します。

操作を取り消すときは［消去しない］を押します。手順 4 の画面に戻ります。

6 ［閉じる］を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

補足

- 蓄積受信文書はドキュメントボックス機能では使用できません。
- Web Image Monitor から他の人が同じ文書を印刷しているときは消去できません。

受信ファクスをメモリー転送する

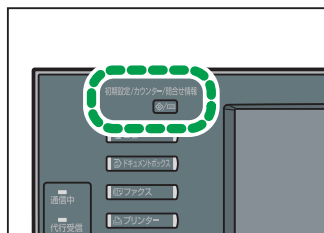
あらかじめ登録されている相手先（転送先）へ転送します。転送先にはファクス宛先、IP-ファクス宛先、インターネットファクス宛先、メール宛先、フォルダー宛先を指定できます。

重要

- 転送先を、事前にアドレス帳に登録しておく必要があります。［システム初期設定］の［アドレス帳登録／変更／消去］で登録してください。ファクス番号を登録する場合は、P.13「ファクス番号をアドレス帳に登録する」を参照してください。

転送先を設定する

転送先を設定します。

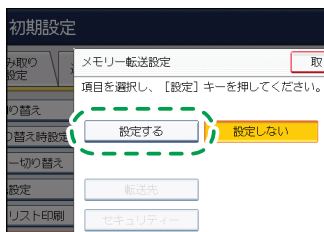
1 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

2 ［ファクス初期設定］を押します。

3 ［受信設定］を押します。

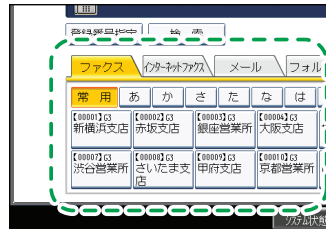
4 ［メモリー転送設定］を押します。

5 ［設定する］を押します。

転送先を変更するときは、［転送先］を押して手順 6 に進みます。

5

6 登録する転送先の宛先キーを押し、［設定］を押します。

補足

- 宛先種別のタブで、宛先表示をファクス宛先、インターネットファクス宛先、メール宛先およびフォルダー宛先に切り替えられます。IP-ファクス宛先はファクス宛先表内に表示されます。

7 ［設定］を押します。

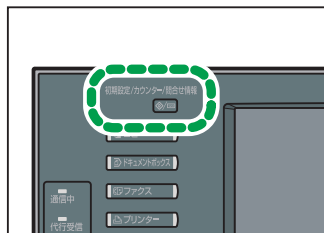
8 ［初期設定 / カウンター / 問合せ情報］キーを押します。

5

転送先の設定を取り消す

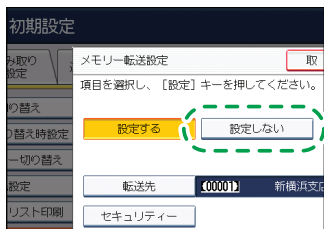
メモリー転送の設定を取り消します。

1 [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

CHA004

2 [ファクス初期設定] を押します。

3 [受信設定] を押します。

4 [メモリー転送設定] を押します。

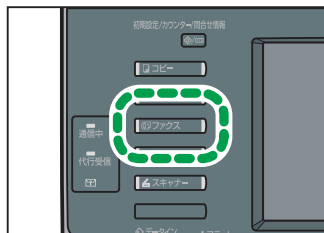
5 [設定しない] を押し、[設定] を押します。

6 [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

簡単画面に切り替える

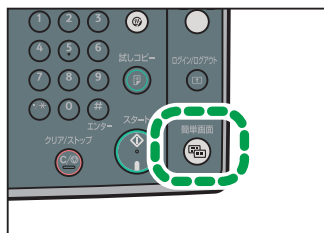
簡単画面とは、主な機能のみを表示した画面です。
文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作できます。ご使用になる機能によって、簡単画面に表示される項目は異なります。

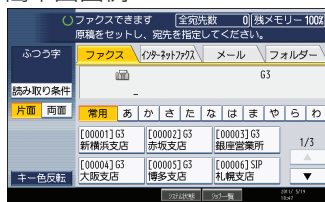
1 ［ファクス］キーを押します。

補足

- 通常はコピー機能が選択されています。

CHG015

2 ［簡単画面］キーを押します。

簡単画面が表示されます。

CHA003

簡単画面例

補足

- 初期画面に切り替えたいときは、再度［簡単画面］キーを押します。

よく使う設定を初期画面に表示する

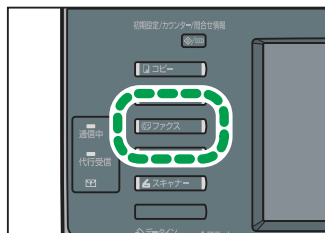
よく使う設定を初期画面に登録しておくと便利です。電源を入れた直後、オートクリアしたとき、またはリセットしたときの状態を初期画面に設定できます。

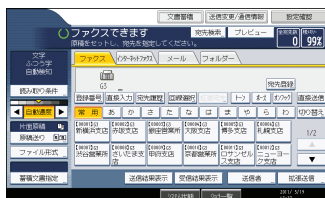
初期値を変更できる設定項目
メモリー送信 / 直接送信、宛先種別、原稿種類、解像度、読み取りサイズ、サイズ混載、自動濃度、手動濃度、原稿セット方向、原稿面、済スタンプ、回線選択、時刻指定送信、受信確認、Bcc 送信、送信結果メール通知、本文、定型文印字、自動縮小、宛名差し込み、ID 送信、F コード送信、F コード取り出し、発信元名称印字、送信結果レポート、文書蓄積、ファイル形式、送信前プレビュー

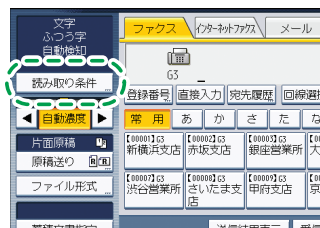
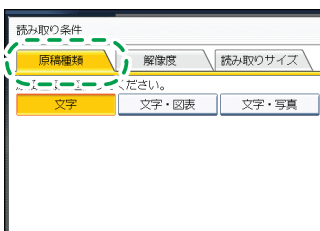
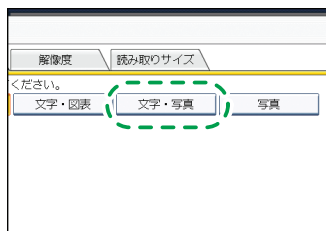
初期値を変更する

1 ［ファクス］キーを押します。

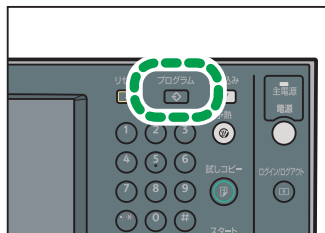
補足

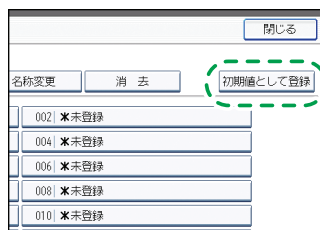
- 通常はコピー機能が選択されています。

CHG015

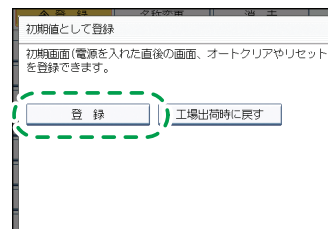
2 初期画面で、登録したい機能や操作を設定します。

例）常に文字と写真のある原稿を送信する

1［読み取り条件］を押します。

2［原稿種類］が選択されていることを確認します。

3［文字·写真］を押します。

4［OK］を押します。

3 **［プログラム］キーを押します。**

6

よく使う設定を初期画面に表示する（つづき）

4 ［初期値として登録］を押します。

5 ［登録］を押します。

確認画面が表示されます。

6 ［登録する］を押します。

現在の設定が初期値として登録され、初期画面に戻ります。

補足

- ［工場出荷時に戻す］を押すと、初期画面の初期値を工場出荷時の状態に戻すことができます。
- 初期画面の初期値は、通常画面と簡単画面で別々に登録できます。

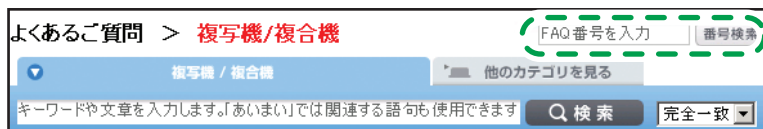
よくあるご質問 -FAQ-

本書に記載していない機能や困ったときの対処方法は、imagio に付属の CD-ROM に収録されている「画面で見る使用説明書」や、リコーの Web サイト、imagio に同梱されている使用説明書に記載されています。
このページでは、使用説明書や Web サイトに記載されている項目を紹介します。

◆ファクス機能の操作で困ったときには

ファクス機能を操作していて、操作部にメッセージなどが表示され、操作に困ったときには、imagio に同梱されている『トラブル解決編』「ファクス機能がうまく使えないとき」をご覧ください。

◆ Web サイトの FAQ ページを見るには

1. 使いのブラウザに次の URL を入力してください。
   http://www.ricoh.co.jp/support/qa/quick.html
2. 複写機 / 複合機の詳細をクリックしてください。
3. 「FAQ 番号を入力」と表示されているところに、このページに記載している FAQ 番号を入力して、[番号検索] をクリックしてください。

補足

- 記載している URL、FAQ 番号や FAQ ページの内容は、将来予告なく変更することがあります。

◆ CD-ROM 収録の「画面で見る使用説明書」を見るには

ファクス機能の操作を説明している『ファクス機能編』は、CD-ROM に収録されています。
CD-ROM に収録されている画面で見る使用説明書を見る方法は、imagio に同梱されている『本機をお使いになる方へ』「画面で見る使用説明書の使いかた」をご覧ください。

よくあるご質問 -FAQ-（つづき）

Question	Answer
パソコンに保存しているPC ファクスの宛先を他の人のパソコンにも設定したい	PC ファクスのあて先表がつくる CSV ファイルをつかって共有することができます。次の FAQ をご確認ください。 FAQ 番号：**1435**
ファクスで受信した文書をパソコンに送る方法を詳しく知りたい	ファクスで受信した文書をパソコンのメールアドレスやフォルダーに送ることができます。ファクス文書をかんたんに電子データにすることができて、便利です。次の FAQ をご確認ください。 パソコンのメールアドレスに転送する方法 FAQ 番号：**1841/1842** パソコンのフォルダーに転送する方法 FAQ 番号：**1838/1839**
原稿を送信する前に文書の内容を確認したい	送信前プレビュー機能を使って原稿を送信する前に文書の内容と相手先が受信したときのイメージを確認することができます。 詳しくは本体同梱の CD-ROM 収録の『ファクス機能編』「読み取った原稿の内容を確認する（送信前プレビュー）」を参照してください。
迷惑ファクスの受信拒否をしたい	迷惑ファクス防止機能で迷惑ファクスの受信拒否ができます。受信拒否したいファクス番号を設定することも、指定した番号以外のファクス番号からの受信を拒否することもできます。詳しくは本体同梱の CD-ROM 収録の『ファクス機能編』「迷惑ファクスを防止する」を参照してください。
送信・受信がうまくできません	送信・受信がうまくできないときの原因と対処方法については『トラブル解決編』「思いどおりに送信・受信できないとき」を参照してください。
ファクスを送信するときにこちら側の情報を相手先の用紙に印字させたい	「オプション設定」の「発信元名称印字」で発信元名称（印字用）を印字するかどうか設定できます。 設定方法についての詳細は、本体同梱の CD-ROM 収録の『ファクス機能編』「発信元名称印字」を参照してください。

◆ 問題が解決しない場合は、P.66 の■操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせをご確認ください。

用語集

■ IP アドレス

パソコンやプリンター、コピー機にそれぞれついている番号です。この番号で、アドレス帳のデータをパソコンに保存するときに imagio を指定することができます。

P.43「imagio のアドレス帳を利用する」

■ PC ファクス

PC ファクスは、専用の PC FAX ドライバーをインストールして、パソコンのソフトウェアから印刷するのと同じ感覚でファクスを送信する機能です。一度印刷せずにパソコンから直接送信できるので、不要な紙を出しません。

P.27「PC ファクスを送信する」

■ インターネットファクス

ファクス番号の代わりにメールアドレスにファクスを送信する機能です。ネットワークを使って送信するので通信費を安くすることができます。

P.55「受信ファクスをメモリー転送する」

■ IP- ファクス

ネットワークを使って直接相手先のファクスに送信することができます。メールを使ったファクス送信は一度メールサーバーに送信されますが、IP- ファクスは直接相手先のファクスに送信します。また、専用のサーバーを使うとファクス番号のような番号を割り当てて使うこともできます。

P.55「受信ファクスをメモリー転送する」

■ メモリー転送

受信したファクスを他のファクスやパソコンに転送します。受信先によって設定することもできるので、必要なファクスだけ確認することができます。パソコンのメールアドレスや共有フォルダーに転送すると、紙で受信した文書の電子化もできます。

P.55「転送する」

■ ペーパーレスファクス

受信したファクスを紙で出力しない機能です。内容を確認してから出力できるので、不要な紙を減らせます。ソフトウェアを使うやり方や、imagio のハードディスクに保存してダウンロードするやり方があります。

P.47「蓄積を設定する（ペーパーレスファクス）」

用語集（つづき）

■ 発信元名称

受信したファクスに表示される名称です。受信したときに送信した相手先がわかります。

P.13「ファクス番号をアドレス帳に登録する」

■ F コード

ファクス番号に 4 桁のコードをつけて送信することで、そのコードを知っている人しか印刷できないようにしたりすることができます。コードは、他社の機械ともやりとりできる形式になっているので相手先のファクスを気にせず使うことができます。

P.13「ファクス番号をアドレス帳に登録する」

■ Ridoc IO Analyser

ネットワークにある複合機やプリンターを管理するソフトウェアです。複合機のアドレス帳のデータをバックアップすることもできます。アドレス帳のデータを csv 形式に変換することができるので、PC ファクスのあて先表に使ったりすることができます。リコーの web サイトよりダウンロードできます。

P.43「imagio のアドレス帳を利用する」

お問い合わせ先

■消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html

■故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

■操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120-000-475
FAX 0120-479-417

- ●受付時間：平日（月～金）9 時～ 18 時
  土曜日 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時（祝祭日、弊社休業日を除く）
- ●通話料は無料です。
- ●音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

■最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。
http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

■製品に関してよくあるご質問（FAQ）を Web サイトで公開しています。

http://www.ricoh.co.jp/support/qa/quick.html

■ 商標

- Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。
本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。
本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

imagio MP 3352/2552 シリーズ

クイックガイド

＜ファクス編＞

株式会社リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒 104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

JA (JP) 2011 年 5 月 D596-7105